教科 音楽 学年 第1学年

題材名	時数	題材の到達日煙(わらい)		題材のまとまりの評価規準	
超	吋奴	題材の到達目標(ねらい)	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
1 うたって うごいて みんなで おんがく	8	表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った	表す情景や気持ちとの関わり	働きが生み出すよさや面白さを 感じ取りながら、聴き取ったこと と感じ取ったこととの関わりに	歌ったり、音楽に合わせて体を動か したりする活動に興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・協働 的に学習活動に取り組もうとしてい る。
2 はくとリズム	8	(1) 曲想と、リズムや拍など音 楽の構造との関わりや、身の回 りの様々な音の特徴について、 それらが生み出す面白さなどと		れらの働きが生み出すよさや 面白さを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの 関わりについて考え、曲想を感 じ取って表現を工夫し、どのよ うに歌うかについての思いを もったり、音遊びを通して音楽	拍に合わせていろいろなリズムで表現したり歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うみ」(共通教材)	3	(1) 曲想と旋律や拍弦ど音楽の 構造との関わり、曲想と歌詞の 表す情景や気持ちとの関わりに 気付くとともに、思いいこ。 表現をするために必要な行けて もの歌声及び発音に気る。(2) 拍ら の歌声及び発音に気る。(2) 拍ら の歌声をはきを聴きまい。それの働きが生み出すよことと感じ 取ったこととの関わったりことと感じ 取ったこととの関わって表現つ はがら、時との関わりて不表に いて思いをもつ。(3) 情異味を にいて気で いて思いをもった。(3) 情異味を いた音楽活動を楽しみなが動に またのいる。	構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。○思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	ら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3 どれみと なかよし	4	(1) 曲想と音階など音楽の構造音楽の構造音楽の関わりに気付くとともにないで表現する活動なで表現するにたりはいいで表現するにないで表現を通したりはいいである。 である いっぱい できない いっぱい いっぱい できない いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっ	との関わりに気付いている。○ 音高を体などで表現する活動 を通して、階名で模唱したり暗	り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取った	階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

(こんにちは けんばんハーモニカ)	7	(1) 鍵盤ハーモニカの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、裏をするために感いに合った表現をするために必要な、リズム譜などを見た付ける。(2) を変し、とないでは、サインなどを聴き取り、それらの働きが生み出取り、それらの働きが生み出取り、それらの働きが生み出取ったことと感じ取りながら、聴き取りについて思いをもつ。(3) 鍵盤メートとし、といりについて思いをもつ。(3) 鍵盤メートとし、といりになる音楽をエ夫し、どのようについて思いをもつ。(3) 鍵盤メートとし、といりについて思いをもち、(3) 線盤楽器に親しむ。	い方など基礎的な演奏技能 や、思いに合った表現をするた 的に必要な、リズム語などを見 て演奏する技能を身に付けて いる。	たことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	鍵盤ハーモニカで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽 しみながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。
4 うたの もりあがり	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と取割の表気 特大とも同た、思いに合った表現 情景や気持ちとの関わりに気現る をするために必要な、階名聴い をするために必要な、階名聴い で、声を合わせて歌う音が生み持 で、方とののでは、との動ながといる。 で聴き取じ、なの動がと、たの動ながと、 を聴き取じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったこと感じ取ったこと感じ取ったこと感じ取ったことを表したことである。 で表して表現を工夫し、をも想をように歌うか詞の旋律をといる。 であることに興味をもち、生体的・協働的に学習活動に、取り組み、日本のまたに望した。	〇曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。○思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したりする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	の働きが生み出すよさを感じ取 りながら、聴き取ったことと感じ	歌詞の表す情景を想像することや、 旋律の特徴を捉えることに興味をも
5 ねいろと つよさ	8	(1) 打楽器の音やそれらのつな げ方の特徴について、それらが 生み出す面白さなどと関わらせ て気付いたり、曲想と音色や強 弱などの音楽の構造との関わりについて気付くともに、発想 を生かした表現をするために必 要な、設定した条件に基づい て、即興的に音を選んだりつな	生み出す面白さなどと関わらせて気付いたり、曲想と音色や強弱などの音楽の構造との関わりについて気付いたりしている。〇発想を生かした表現をす	れらの働きが生み出すよさや 面白さを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの 関わりについて考え、音遊びを 通して音楽づくりの発想を得た り、どのように音を音楽して いくかについて思いをもったり、 曲や演奏の楽しさを見いだし、	様々に試しながら打楽器の音の特 徴を見付ける学習などに異味をも ち、音楽活動を楽しみながら、主 を 的・協働的に学習活動に取り組ん でいる。
6 うたで まねっこ	5	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気 付くとともに、思いに合った表現 をするために必要な、互いのは 声や伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、拍に合わせで引ば付る。(2) フレーズ いでける が に必要な を ひいに と変が生み出すまさや面ったことを が とかいて考えなどを 聴き取ったら、関わりにかいてまいを まされいて 思いを もつ。(3) 聴き 合って歌う学習に異なるかについて思いをもっにかいて思いをもいと思いをもから、聴き、音楽活動を楽しみながら、取り組み、交互唱に親しむ。		どを聴き取り、その働きが生み 出すよさや面白さを感じ取りな	聴き合って歌う学習に興味をもち、 音楽活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組もうとし ている。

〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう	4	(1) 曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付くとともに、発想を生かした表現をするに、必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。(2) 音色や強・動、呼びかけとこたえなきを感じ取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取りについて考え、でしの発想を得る。(3) いろいるよる音遊びを通して音楽づなりの発想を得る。(3) いろいるも、音楽活動を楽しみなが動に、学習があいたこととの関わりについて考え、ずくりの発想を得る。(3) いろいるも、音楽活動を楽しみなが動に、主体的・協働的に学習活動に、主体的・協働生活の中の様々な音や音楽に親しむ。		き取り、それらの働きが生み出 すよさや面白さを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ取った こととの関わりについて考え、	いろいろな声で表現することに興味 をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。
7 おんがくの ながれ	4	(1) 曲想と、旋律の反復と変化、合いの手など音楽の構造との関わりに気付く。2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わったり、音楽がましている情景を想像している。	曲想と、旋律の反復と変化、合 いの手など音楽の構造との関 わりに気付いている。	こたえなどを聴き取り、それら の働きが生み出すよさや美しさ	曲想を感じ取ったり、音楽が表している情景を想像して聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈めざせ がっきめいじん〉 「すずめが ちゅん」	5	(1) 曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付くとともに、思いこれで表現をするために必要な、範奏を意味いたり、リズム技能を身に付ける。(2) 旋律を聴きなや面白さを感じ取りながら、ととの関わりについて表現を工ついて表現を正ついて、場にである。(3) 楽器を演奏を楽との関わりについた現ををでいる。(5) な器を演奏を楽器を演奏を楽しみながら、主体的、鎌盤盤楽型活動に取り組み、鍵盤楽	○曲想と歌詞の内容との関わりや、ふさわしいアーティキュレーションに気付いている。○ 思いに合った表現をするために、必要な、範奏を聴いたり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	楽器を演奏したり音を聴き合ったり することを楽しみながら、主体的・協 働的に学習活動に取り組もうとして いる。
8 みんなの おんがく	3	型に割より((1) 曲想とりズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともにめに合った表現をするた奏を聴いて声を合わせて歌うではいるがらりば、などの機能ができない。 日本のでは、 1 では、	造との関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴 奏を聴いて声を合わせて歌う技	聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ たこととの関わりについて考 え、歌詞や曲想に合った表現を	音楽が表している情景を想像しながら表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、は他的に学習活動に取り組もうとしている。

〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくを つくろう	4	(1) 旋律の特徴について、それが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生っな、設定された条件に基づいて、即興的に音を選んだり、で重ねたりにで、動性律を友達と音をでは、20 旋れでしたり、をもいりについて考え、どのように登したと感じ取りながら、ときの関音を音楽にしていくがに乗きていたり、それをつなげたり重ねたりはあるとと感じ取かったこととがした。との関音を音楽にしていくがに乗せるとを感じ取かったこととの関音を音楽にしていくがに乗せるとないがに、対にでは、それをつなげたり重ねたり、それをつなげたり重ねたりまかがら、まれを回りずることに興味をもち、作り、それを回りずることに異味をもち、まりずることに異味をもち、まりまがら、まりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまり	が生み出す面白さなどと関わら	聴き取ったことと感じ取ったこと	短い旋律をつくったり、それをつな げたり重ねたりすることに興味をも ち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組もう としている。
「国歌・区歌・校歌」	2	君が代や区歌、校歌の歌詞や旋律を理解し、正しく歌う	旋律を正しく捉えて歌ってい る。	や音楽の特徴を感じ取り、曲に	君が代、区歌、校歌の大意や歌われる場面を理解し、公共の精神をもって主体的に取り組んでいる。

教科 音楽 学年 第2学年

95 ++ <i>Q</i>	n± */-	中米 頭サの列達日煙(わらい)	題材のまとまりの評価規準			
題材名	時数	題材の到達目標(ねらい)	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度	
〈導入〉「朝の リズム」	3	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と 薬の構造との関わりや、曲をの 関わりに気付くとともに、思いに 合った表現をするために悪を あら、音を合わせてが打ちしたり する技能を身に付ける。(2) がら、 神の側が生み出りにつたがら、 を聴きするためで はやリズムを聴きないで はやリズムを聴き取りたこととの関わりにつないで 表え、曲想を感じ取って表現ついて思いををいて表えいの 大きに異いて表現でいて表現でいて思いをもつ。(3) 歌に異いながこととの関わりにつないでして、 な、主体のように到かいてといて、 また、主体的・協働的に異味である。 に、主体的・協働的に変好する心に に、ないの。 はながまかいます。 は、これに異いなが、動して、 は、これに異いなが、動して、 は、これに異いなが、動して、 は、まなきが、動い組み、音楽を愛好する心に は、音楽をでいる。	詞の表す情景や気持ちとの関	旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことといいであったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	
〈スキルアップ〉 手びょうしリレーで あそぼう	3	(1) 手拍子による様々な音面的特さ (1) 手拍子による様々な音面的特さ では、それらが生く気は、と関わらせていた表現を生気は、 ために必要な、設定した条理した。 ために必要な、設定した条理した。 は、発化必要な、は、 は、で、は、で、は、 は、で、は、で、は、 は、は、 は、	どと関わらせて気付いている。	色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと、感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	
1 強さと はやさ	7	(1) 曲想と、強弱や速度、構造を がけとこたえなど音楽の調の表の関わりや、曲想と別かけた、曲想と別かりに表現 情景や気持ちとの関わりた。 声をするために必要な、声を合る。(2) 声や伴奏を聴いて、方に付けとこれを をするために必要な、声を合る。(2) をするために必要な、声を合る。(2) などを聴き取り、そのしたるなどを聴き取り、そのした。 などを聴き取り、そのした。 などを聴き取り、その関わりにつたが 生み出すよさらの関わりにつたか 取りながら、聴き取ったこととい表 現を工夫し、どをもったり、中のの 乗しさを見いたとして聴いたり、 楽しさを見いだして聴いたり、 金の変化を捉えて聴く。 音楽活動を楽し みながな。主体的、投働的に とない、 との、な機動的に	けとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ○思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う 技能を身に付けている。	などを聴き取り、それらの働き が生み出すよさや面白さを感じ 取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについ て考え、歌詞や曲想に合った表 現を工夫し、どのように歌うか	活動を楽しみながら、主体的・協働	
2 はくや ドレミと なかよし	7	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりい、曲想と歌詞の表す情景との関わりに表現などもした。発想を生かした表現を伴に基づいてがけたりに表現したり、下巻では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番	〇曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。〇発想を生かした表現をするために必要な、設定に音楽件に基づいて、即興的し音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。	きが生み出すよさや面白さを感 じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりにつ いて考え、言葉とリズムとの関		

〈音の スケッチ〉		(1) 音の重なりや、フレーズの	音の重なりや、フレーズのつな	音の重なりやリズムを聴き取	音の重なりを選んで表現することに
音の かさなりや リズムを えらんで 合わせよう	3	つなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらった表気付くとともに、といに合う音楽を音いる技能を身にの働きが生まれらがこととの重なりやリズムを聴き取りながたこととの重なりやリズムを聴き取りながらこととの動きが生み出いったとと感じ取りたことと感じ取りたがについきの重なりを表現するである。(3) こととのにて思いを表現する。1 音楽活動働的に響きや線倒めいにでいきで響きや鍵盤をいる。1 を いい はい	げ方の特徴に、それらが生み 出す面白さなどと関わらせて気 付いている。	り、それらの働きが生み出すよ さや面白さを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、どの ように音を音楽にしていくかに ついて思いをもっている。	興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈めざせ 楽き名人〉 「かっこう」 「ドレミの トンネル」	5	(1) 楽器の音色と演奏の仕方と り関わりに気付くとともに、「指 くぐり」「指またぎ」の奏ためにり、 といこ合ったや件を見たりして表現をを聴いたり、 要な、範奏を発見たりして会する技能を身に付ける。(2) な 律、拍、速を度などを聴き取りながら、 律、拍、速を度などを聴きないや 面白さを感じ取りながった。とと感じ取ったとと感じ取りながった。とと感じ取りながった。 は、立とと感じ取りながった。とない 関わりについて表え、して思い表す。 に取って表表し、で思い表する。(3) ドロとのよりで表現をエランにと関係をよりましたりする。 したりすることに要味をもち、 といずるとと、と感じなよきも一、(3) ドロといて思い表音 といずるとといいで思い表音 といずるにといる。 といずるにないまり、 は、といずるに、といいました。 は、といいました。 は、といいました。 は、といいました。 は、は、といいました。 は、は、といいました。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	○楽器の音色と演奏の仕方と の関わりに気付いている。○ 関わりに見行いている。○ 関かりに持まできるを 、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴 いたり、リズム語などを見たりし て演奏する技能を身に付けて いる。	旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	ドレミで歌ったり演奏したりすること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
3 きょくに 合った 歌い方	5	(1) 曲想と旋律や音色など音楽 の構造との関わりや、由想と 関語との関わりや、気持ち思いに 高の表す情景や気持ち思いに 会な自分の歌声及び発音に付い を付けて歌う技能を句とならな を付けて歌う技能をの関い を付けて歌う技能をの場合 を付けて歌う技能をの場合 を付けて歌う技能をの場合 を付けて歌う技能をの場合 をが生みがこた ををが生みがこた を感じ取り、それらさをと感じ取り、それらさをと感じ取りまった。 まさや面ったことと感じ取った。 との関わりてついて表現った。 との関いたしい、世聴いたり、曲と を感じ取っるうに歌かるである。 は、としているである。 は、としているである。 は、としているでは、としているでは、 は、としているでは、 は、としているでは、 は、としているでは、 は、としているでは、 は、としているでは、 は、としているでは、 は、としているでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	の構造との関わりや、曲想と歌 詞の表す情景や気持ちとの関	関わりについて考え、曲想を感 じ取って表現を工夫し、どのよ	曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などを丁寧に聴いたりする活動などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・強働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音の スケッチ〉 どんな 音が きこえるかな		1) 身の回りの様々な音の特徴	身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。	音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きが 生み出すよさや面白さを感じりながら、聴き取ったこととの感りいでして うる。それぞれの特徴を捉えて 聴いている。	身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽 しみながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。
4 音色とリズム	5	(1) 曲想と音気の構造との関わりに気付くとともに、との関わりに気付くとともに、気を付けて来現をするために必を演奏する技能を身に付けれる。(2) 音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合ったまかについて思い音色をエスにいるといい。 3 (3 楽器の音楽活動を実により、いついるな打活動に取り組み、いろいろな打を製に乗りた。	○曲想と音色など音楽の構造 との関わりに気付いている。○ 思いに合った表現をするために 必要な、音色に気を付けて楽 器を演奏する技能を身に付け ている。	音色やリズムなどを聴き取り、 その面白さを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、曲の 楽しさを見いだし、曲全体を味 わって聴いたり、歌詞に合った 音色をエ夫し、どのように表す かについて思いをもったりして いる。	楽器の音色やリズムに興味をもち、 音楽活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組もうとし ている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「夕やけ こやけ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞のほう情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った方見をするために必要な、自然をするために必要な、(2) 旋律やフレーズを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りをが生み出すよさを感じ取りたこととの関わりについて思いをもっ。(3) 歌詞とにといる現から、主体的・協働的にで表現するとに、関いをもち、音楽活動を楽しみない。主体的・協働的に下規制を感じ、ない。		の働きが生み出すよさを感じ取	歌詞や曲想を生かして表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
〈めざせ 楽き名人〉 「こぎつね」	4	(1) 曲想とフレーズなど音楽の 構造との関わりや、曲想と歌詞 の表す情景や気持ちとの関わ リに気付くとともに、手の移動な どの奏法や、思いに合った表現	造との関わりや、曲想と歌詞の	り、その働きが生み出すよさを 感じ取りながら、聴き取ったこと と感じ取ったこととの関わりに ついて考え、曲想を感じ取って 表現を工夫し、どのように演奏	曲想にふさわしい演奏に興味をも ち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組もう としている。
5 おまつりの 音楽	2	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気明なら付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合い2 音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取ったこととの関わりについて考え、演多のとさを見いだし音に興味をもち、音楽ないるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる		それらの働きが生み出すよさを	いろいろな太鼓の音に興味をもち、 音楽活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組もうとし ている。
(音の スケッチ) おまつりの 音楽を つくろう	3	(1) 太鼓の音やリズムのつなげ 方の特徴に、それらが生み出 す面白さなどと関わらせて気を するために必要な、音楽の仕 組みを用いて簡単な音楽をつく る技能を身に付ける。(2) リズムを聴き取り、その働きが取り、 がら、聴き取ったことと感じ取りながら、聴き取ったこととの関かりにつくることを 通して音楽づくりの発想をしみていたのについて考 を通して音楽づくりの発想をもたしくがいこついて思いをもったより する。(3) 太鼓のリズムをもとに 年楽活動を楽しみながら、取り組 か、和太鼓による音楽に親し む。和太鼓による音楽に親し	○太鼓の音やリズムのつなげ 方の特徴に、それらが生み出 す面白さなどと関わらせて気付 いている。○思いに合った表現 をするために必要な、音楽の仕 組みを用いて簡単な音楽をつく る技能を身に付けている。	取ったこととの関わりについて 考え、簡単なリズムをつくること	太鼓のリズムをもとに音楽をつくる ことに興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学習活 動に取り組もうとしている。
6 音楽の ながれ	3	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見いだし、曲全体を味わって聴く。(3) 音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。	曲想と音色など音楽の構造と の関わりに気付いている。	音色、旋律、反復、変化などを 聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ たこととの関わりについて考 え、曲の楽しさを見いだし、曲 全体を味わって聴いている。	音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとしてい る。

7 くりかえしと かさなり	3	(1) 曲想と速度や反復など音との構造との関わりや、曲想と速度や反復など音を見わりや、曲想と対した。 関わりに合ったをするために必要を、声やき合わせて演奏を復まる。 (2) 反を聴き取りながら、20 反をを出りながら、を変しながら、との関きが生み出ら、聴き取りわりについて考え、し、どのよりを変じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったこともの表現をエ夫し、どのようとの関係といる表現をエ夫し、どのようとの関係というとの表現を正くして表現する。(3) 習したりする。(3) 習したりする。(3) 習したりする。(3) 習したりする。(3) 習したりする。(4) 習どのよきないたっしたりまり、曲の楽しくのをとした。 は、 との楽し、 との歌に、 との歌に、 は、 との歌に、 は、 ないのをといる。 (4) 習どいる。 (5) 習どいる。 (5) 習どいる。 (5) 習どいる。 (5) 習どいる。 (5) 習どいる。 (6) 習どいる。 (7) 習どいる。 (7) 習どいる。 (7) 習どいる。 (7) 習どいる。 (7) 習どいる。 (7) 記述をいる。 (7) 記述をいる。 (7) 習どいる。 (7) 記述をいる。 (7) 記述	〇曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気をいいた合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	たこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	曲想を感じ取って表現する学習に 興味をもち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活動に取 り組もうとしている。
8 みんなの 音楽	4	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞わりを、曲想を歌詞の表す情景やり気持ちといいになった表現を持ちる。(2) を聴きなり、それらの優さなり、それらの優さながら、これのようにととのは、一次のようにこととの関わり表現をする。といのように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次のように、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では	の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。○思いに 合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴い	音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもっている。	曲想を感じ取って歌ったり聴いたり することに興味をもち、音楽活動を 楽しみながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春が きた」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞わりに、曲想と歌詞わりに、特持ちとの関わりに、会持ちとの関わりに、会に、といいに合ったの歌声や発音に気を付けていりであるが、とないとない。(2) 旋律などを聴き取られたことと感じながら、聴き取ったこととの以りで表え、出想を生かして表に、のように歌うがにやしたりするながら、悪きないとない。これでは、ながら、いかのように歌うがにやして思いをもつ。(3) るるとと感じないて思いをもつ。(3) るるととのようながら、いて思いをもつ。(3) るるというながら、音楽活動的に学を出いて思いるといいの思いをもっ。(3) るるというない。	曲想と旋律など音楽の構造と の関わりや、曲想と歌詞の表す 情景や気持ちとの関わりに気 付いている。	が生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ってこととの問取りについて考え、 曲想を感じ取って表現を工夫 し、どのように歌うかについて 思いをもっている。	歌詞や曲想を生かして表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
(音の スケッチ) みんなの 音楽時計を つくろう	4	らせて気付くとともに、思いに 合った表現をするために必要 も大表現をするために必要 も大きな、音楽の仕組みを削り、 はな音楽をつくる技能を身り、 はいまな音楽をつくる技能を見り、 はいまな音楽をできる技能をしまり、 はいまなどを聴き取り、もの働きが生み出がら、聴き関れ もさを感じ取りなから、聴き関わ いて考え、どのようしいこととの関わ りについて考え、どのようしいでも いた音楽と共通するとこをいり にかまりないである。 はいまないました。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないます。 はいまないまないまないます。 はいまないまないまないます。 はいまないまないまないます。 はいまないまないまないます。 はいまないまないまないます。 はいまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまない	が生み出す面白さなどと関わら せて気付いている。〇思いに	などを聴き取り、それらの働き が生み出すよさや面白さを感じ 取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについ	に取り組もうとしている。
「国歌・区歌 ・校歌」	2	君が代や区歌、校歌の歌詞や 旋律を理解し、正しく歌う	君が代、区歌、校歌の歌詞や 旋律を正しく捉えて歌ってい る。	や音楽の特徴を感じ取り、曲に	君が代、区歌、校歌の大意や歌われる場面を理解し、公共の精神をもって主体的に取り組んでいる。

教科 音楽 学年 第3学年

BZ ++ #2	n± *-	原社の対法の集化され	題材のまとまりの評価規準			
題材名	時数	題材の到達目標(ねらい)	知識·技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度	
〈導入〉 「小さな世界」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに合った表現をするために必要な、互いの歌するために必要な、互いの歌するために必要な、方にかけるを連いなどを聴いながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関ながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関を捉えた表現をエ夫し、どのように歌うかについて思いや意図をも	曲想と旋律など音楽の構造と の関わりや、曲想と歌詞の内容 との関わりに気付いている。		歌詞の持つメッセージを歌にのせる ことに興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	
〈スキルアップ〉 「ア ラム サム サム」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をする音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、こととの関わりについて考え、出の特徴を捉えた表現を工夫し、やのように歌うかについて思いや意図をもつ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	旋律の重なりや、体を動かしながら 表現することに興味をもち、音楽活 動を楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとしてい る。	
〈スキルアップ〉 〈リズムなかま〉で 楽しもう!	2	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどと関わらせながら気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。(2) リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのようにまとないた考え、音を音楽へと構成することを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	リズムのつなげ方や重ね方の 特徴について、その生み出すよ さや面白さなどと関わらせなが ら気付いている。	リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。		
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春の小川」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内、容との関わりいに気付くともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、動きがで歌う技能を身に付ける。(2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを悪じ取りながら、出し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音 の仕方に気を付けて、自然で 無理のない歌い方で歌う技能 を身に付けている。	働きが生み出すよさを感じ取り	歌詞や曲想を生かして表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。	
1 楽ふとドレミ	4	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と音楽の構造内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いり入長調の楽譜で見たりい長調の楽譜で表明という音の重なりや音階などを映き取り、さい面白さを感じ取りながら、由いどのように歌うかについて思いを意図をもつ。(3) ハ長調をもし、どのまうに歌うかについて思い階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみがら、主体組み、音階や鍵盤楽器に親しむ。	曲想と音階など音楽の構造と の関わりや、曲想と歌詞の内容 との関わりに気付いている。		ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「茶つみ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、に付ける。(2) 旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて	曲想と旋律やリズムなど音楽 の構造との関わりや、曲想と歌 詞の内容との関わりに気付い ている。	取り、その働きが生み出すよさ や面白さを感じ取りながら、聴 き取ったことと感じ取ったことと の関わりについて考え、曲の特 徴を捉えた表現を工夫し、どの ように歌うかについて思いや意 図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現すること に異味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
〈こんにちは リコーダー〉	5	(1) リコーダーの音色と演奏の 仕方との関わりに合った表現響・ するためにいるできる。 するためになる。 を聴いで必要ないを変したを表現をするために、思いを意図に気を付け、互いの音や伴奏を聴いるを付け、互もかせて、発想を生かした表現をする技能や、発想を生かした。 を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。(2) 音色や働画を変し取りながらとを聴きはながらとを聴きないなけまながらとと感じ取りなが生み出すよながらとといて考えし、どのようにことを感じ取った。といて考えし、どのように思いや考えた表現をするかについて思いや場合について表し、とのように演して音楽であり、リコーダーの演奏のをもったり、ロリーダーの演奏のととを通して音楽がよりの楽奏のととを通して音楽がよりの楽奏のようを見いだして聴いたも現を	に気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	れらの働きが生み出すよさや 美しさ、面白さを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ取った こととの関わりについて考え、 曲の特徴を捉えた表現を工夫 し、どのように演奏するかたっしい いて思いや意図をもったり、リ コーダーの演奏のよさを見いだ して聴いたりしている。	リコーダーで様々な表現をすること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
2 ひびきのある歌声	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりいこ気付くとともに、思いや意図に合った表現を発音の仕方に気を付け、自然を発音の仕方に気を付け、可能を見いない歌い方で歌う技能を見いている。(2) 旋律、それ、長調の楽譜を見て様く、それ、でいる。(2) 旋律、それ、自然を変しなどを聴き取りながら、といの働きが生み出すよさやら、面白さを感じ取りながら、、曲の関わまたとと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取りながら、と対して表現を工夫し、どの関わまた表現を工夫し、どのは表れまして思いや意	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発育の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	旋律の特徴を生かして表現すること に異味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で表げんしよう	2	(1) いろいろいろなからの響きやそれらの組み合わせの特徴、ついるいるなからの組み合わせの特徴、ついて、それらの生み出する情でする。 対して、それらの生み出す気景をしたりません。 発想を生かした表現たとしたのに基づいて、またのに必要な、というでは、表現の生命を表現したりして表現の仕能をもいった。 (2) ときるというでは、一方を選択したりをいる。 (3) とずのに必ずのに必ずのに必ずのに必ずのに必ずのに必ずのにがいる。 (4) とうというでは、というでは、は、でいるとというでは、は、でいるとというでは、は、でいるというでは、は、でいるというでは、は、でいるというでは、は、でいるとない。 (4) いっとを通り、どのようにあいいて考しているかにするからない。 (4) いったをできない。 (4) いったをできないは、音楽をよったのは、またのは、ないないない。 (4) いったのは、ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。	どを聴き取り、それらが生み出 すよさや面白さを感じ取りなが	いろいろな声で表現することに興味 をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うさぎ」(共通教材)	1	(3) 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。		季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
					i

〈めざせ 楽き名人〉 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」	5	伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を選ら付ける。(2) 音を、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことの場合が表現を工夫し、どのように演奏するかにつ	方との関わりに気付いている。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、互いの音や 伴奏を聴きながら演奏する技 能や、発想を生かした表現をす るために必要な、設定した条件	り、それらの働きが生み出すよ さを感じ取りながら、聴き取った ことと感じ取ったこととの関わり について考え、曲の特徴を捉え た表現を工夫し、どのように演	旋律の感じを生かしてリコーダーで 表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとしてい る。
3 せんりつと音色	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽 の構造との関わりに気付く。(2) 音色、旋律、反復、変化などを 聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ たこととの関わりについて考 え、曲や演奏のよさなどを見い だし、曲全体を味わって聴演表 聴くことに興味をもち、音楽活 働的に学習活動に取り組み、 パイオリンやチェロの演奏に親 ま	曲想と旋律や音色など音楽の 構造との関わりに気付いてい る。	聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ たこととの関わりについて考 え、曲や演奏のよさなどを見い だし、曲全体を味わって聴いて いる。	がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
4 曲に合った歌い方	3	(1) 曲想とフレーズなど音楽の 構造との関わりい、曲想と歌詞 の内容との関わりに気付くともに、思いや意図に合った表現 をするために必要な、互いのか をせて歌う技能や、楽を副次付 せて歌う技能や、楽を副次付 ける。(2) 音色、音楽の縦と聴き りはる。(2) 音色、音楽の縦と聴き 取り、それらの働きがも、聴き取り よさを感じ取りながら、聴きを関い にとと感じ取ったこととの関を捉 また表現を工夫し、どの別を捉 表た表現を工夫し、との気もつ。	曲想とフレーズなど音楽の構造 との関わりや、曲想と歌詞の内 容との関わりに気付いている。	音の重なりなどを聴き取り、そ	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「ふじ山」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け入り、後継で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現をエ夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	然で無理のない歌い方で歌う 技能を身に付けている。	それらの働きが生み出すよさを 感じ取りながら、聴き取ったこと と感じ取ったこととの関わりに ついて考え、曲の特徴を捉えた 表現を工夫し、どのように歌う かについて思いや意図をもって いる。	歌詞や曲想を生かして表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
5 日本と世界の音楽	7	(1) 曲想とリズムなど音楽の構に、 造との関わりに気付くととももに、 思いや意図に合った表現をするために必要な、互たのや伴奏を聴き、互を合わせするたり体を動かしたりするがまたり体を動かしたりは存やりまる。 能を身に付ける。(2) 旋聴き取らなどを聴き、拍、速度などを聴き、出す。 ボム、拍、速度などを聴き取りながたこととをじ取りながたことと感じ取りながたことと感じ取りながたこととをじ取りながたことを見い取ったとない。 を見なたまで表現をエストしている。(3) 体を動いだして聴いたりする。(3) 体を動いだして関味をもち、音や・表に関いないを見いたりするより、るとは、というはない。(4) 体を動かしながら、まは体的・協力を発したり、などは、などは、などは、などは、などは、などは、などは、などは、などは、などは	たえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。 〇思いや意図に合った表現を すために必要な、互いの歌声 や伴奏を聴き、声を合わせて 歌ったり楽器を演奏したり体を	出すよさや面白さを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ	日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに 関味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

(音のスケッチ) ばんそうに合わせてせんりつを つくろう「雪のおどり」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定さされた条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。(2) 音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きがら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を立てとと感じ取ったこととのといてきない。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うか、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
6 パートの役わり		(1) 曲想と声部の役割など音楽 の構造との関わりに気付くとと もに、思いや意図に合った表現 をするために必要な、互いので 器の音を聴き、音を合わせて、 要する技能を身に付ける。(2) りなどを聴き取り、それらの重な が生み出すよさや音の重なりなどを聴き取り、それらの働き が生み出すよさや面かたこととの関わたこととの関を捉えた表え、 に取ったこととの関を捉えた表現 を工夫し、どのように演図をもつ。 (3) 曲想を感じ取っで聴く学楽し みながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組組み アメリカ程	する技能を身に付けている。	などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととし取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想を感じ取って聴く学習に興味を もち、音楽活動を楽しみながら、主 体的・協働的に学習活動に取り組も うとしている。
くめざせ 楽き名人〉 「あくびのうた」 「冬さん、さようなら」	3		思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		リコーダーの響きや声部の役割を 生かして表現することに興味をも ち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組もう としている。
7 音楽のききどころ	2	(1) 曲想と旋律や音色など音楽 の構造との関わりに気付な(2) 音色、旋律、反復、変化などを 聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ たこととの関わりについて考 え、曲のよさを見いだし、曲全 体を味わって聴く。(3) 楽器の 音色や曲の流れを捉えていま 学習に興味をもち、音楽活動く 楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組み、オーケ	曲想と旋律や音色など音楽の 構造との関わりに気付いてい る。	聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ たこととの関わりについて考 え、曲のよさを見いだし、曲全 体を味わって聴いている。	楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽 しみながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。
8 思いに合った表げん	2	(1) 曲想と声部の役割など音楽 の構造との関わりや、曲想と歌 前の内容との関わりりに気付くと ともに、思いや意図に合った表 現までもために必要な、互もの 歌声や伴奏を聴いる技能を引 を合わける。(2) 旋律やリズム・ の重動きが生みはまな、を感き取りながら、聴き関いながら、を を合わける。(2) 旋律やリズム・ の重動きが生み出すよこをとい 取りながら、聴き取りようを感じ取りながら、 取りながら、 を消 を消 を加 いて考えし、との場合で演 をについて思いや意識 がについて思いや意識 がについて思いや意識 をについて思いを意動を楽しみない。 もの働きではながら、 1年の がら、1年の がら、1年の が高 いる、1年の が は いる、1年の に学習活動に取り組みる。 経験を とまれてに 経験を とまれてに とれて に とれて に とれて に とれて に は の は いる、 に の は いる、 に の は いる、 に の は いる、 に の は いる、 に の は いる、 に の は いる、 に の は いる、 に の は いる、 に の は いる。 に の は いる。 に の は いる。 に の は いる。 に の は いる。 に の は い。 に り る と い。 、 と い。 、 と の 、 に 、 と 、 と 、 と 、 、 と 、 と 、 と 、 と 、 と 、	曲想と声部の役割など音楽の 構造との関わりや、曲想と歌詞 の内容との関わりに気付いて いる。	を聴き取り、それらの働きが生 み出すよさを感じ取りながら、	声部の役割を意識して演奏すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、1年間の学習活動に取り組も 方としている。

〈音のスケッチ〉 音のひびきや組み合わせを楽 しもう	2	の組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面とはでいて、それらが生み出すよさや面とはできせて気付くとともために必要な、設定した条件に起きいて、即興的に音を選択してる。 組み合わせたして表現をする強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさ、聴き取ったことの働きが性みがた。聴き取ったことで取りががら、聴き取ったことを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりにる元とを通して、音楽づくりの発想を得る。	組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	れらの働きが生み出すよさや 面白さなどを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、即興 的に表現することを通して、音 楽づくりの発想を得ている。	音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。
〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」	2	(1) 曲想と音色や旋律など音楽 の構造との関わりに気付く。(2) 音色、旋律、強弱、速度などを 聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさ、面白さを感じ 取りながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりについ て考え、曲のよさを見いだし、 曲全体を味わって聴く。	構造との関わりに気付いている。		物語を音楽が表していることに興味 をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。
「国歌·区歌 ·校歌」	2	君が代や区歌、校歌の歌詞や 旋律を理解し、正しく歌う	君が代、区歌、校歌の歌詞や 旋律を正しく捉えて歌ってい る。	や音楽の特徴を感じ取り、曲に	君が代、区歌、校歌の大意や歌われる場面を理解し、公共の精神をもって主体的に取り組んでいる。

教科 音楽 学年 第4学年

BELLA	n± 1/11			題材のまとまりの評価規準	
題材名	時数	題材の到達目標(ねらい)	知識∙技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「さくら さくら」(共通教材) ◎さくら変そう曲	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意の関わりに合った表現を発音に気を付けて、動きなのない歌い方で歌う技能を身に付ける。(2) 旋律ときを聴き取りながら、聴き取ったこととの関りない。それらの働きがら、聴き取ったことと感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取りながら、聴き取ったっていて考え、曲の特徴を捉歌うかについて考え、曲の特徴を捉歌うかについて悪くし、や意図をもったり、等の音楽のよさを見いだして聴いたりする。	曲想と旋律など音楽の構造と の関わりや、曲想と歌詞の内容 との関わりに気付いている。	などを聴き取り、それらの働き が生み出すよさを感じ取りなが	日本のうたをもとにした音楽に興味 をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。
1 はくとせんりつ	6	(1) 曲想と拍や速度など音楽の 構造との関わりに気付くととも に、思いや意図に合った表現を するために必要な、互いの歌わ せて歌ったり、器を演奏した りする技能を身に付ける。(2) 拍や旋律、強弱などを聴き取った を感じ取ったこととの関わた ことと感じ取ったこととの関わた ことと感じ取ったこととの関わた ことと感じ取ったこととの関わり について考え、曲の特徴を た表現ついて思いや意図をも うかについて思いや意図ををも り、きな感じ取ったこととの関係を に表現することの教味を にったり、ものとうに といまする。(3) 拍子の特徴を もな。音楽活動を楽しみな拍子の音 楽に親しよい。	や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。	さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取りたたこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	拍子の特徴を捉えて表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
2 ひびきのある歌声	4	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現を声るために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身にに整き取り、それらの働きが生みがら、聴き取ったことと感じ取りながら、聴き取ったこととを感じ取りについて考え、歌声や近てミュージカルの音楽を聴く。(3) いろいろな歌音を聴くとには興味をもち、主体的・協働的に、当時のはいる。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	取ったことと感じ取ったこととの	いろいろな歌声を聴くことに興味を もち、音楽活動を楽しみながら、主 体的・協働的に学習活動に取り組も うとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「まきばの朝」(共通教材)	2	(3) 歌詞や曲想を生かして表現 することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協 働的に学習活動に取り組み、 日本のうたに親しむ。	との関わりに気付いている。	が生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
(音のスケッチ) 音の動き方を生かしてせんりつ をつくろう	4	(1) 音の動き方の特徴につい て、それらの生み出すよさやと 見かなどと関わらせて表現をす るために必要な、設定したを現 るために必要な、設定したを発 に基づいて、即興的に音を選 択したり、組み合わせたけしる。(2) 旋律やフレーズを聴き取りさ、そ れらの働きが生み出すよ、聴き 取ったことと感じ取ったこととの 関わりについて考え、どのよう にまとまりを意識した音楽をも るかについて思いや意図をも	れらの生み出すよさや面白さな どと関わらせて気付いている。	れらの働きが生み出すよさや	音の動き方を生かして表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。

〈めざせ 楽器名人〉	1	(1) リコーダーの音色と演奏の	思いや意図に合った表現をす	旋律も音楽の縦と構との関係	高い音をきれいに響かせることに興
「ハロー サミング」「もののけ姫」から	4	仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現響きに気を付けて、互いを意要ない。の音をいまながは、伴奏を聴きながは、伴奏を聴きながら、とないでは、伴奏を聴き取り、それらの関かがら、とを感じ取りながた。との関かりについて考え、し、ことの関かりについて考え、し、ことを投入さいる。ことは、音楽活動を楽しみなが活動に取り組み、リコーダーと、主体的、協働的にデーマーと、主体的、協働的にデーマーと、主体的、協力のように演奏を楽し、ない活動に取り組み、リコーダーと、主体のを、自然を発見なが活動に取り組み、リコーダーと、主体のを、自然を発見ない。	るために必要な、音色や響きに 気を付けて、互いの音や副次 的な旋律、伴奏を聴き、音を合 わせて演奏する技能及びサミ ングの技能を身に付けている。	み出すよさを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、曲の 特徴を捉えた表現を工夫し、ど のように演奏するかについて思 いや意図をもっている。	味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3 曲に合った歌い方	5	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内別わり、曲想と歌詞の内別の場合との関わりに気付くとともに、るいりにないで、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	○曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想を生かして表現することに興味 をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。
4 かけ合いと重なり	4	(1) 曲想と、呼びかけとこたえな ど音楽の構造との関わりにた気 付く。(2) 音色、呼びかけとこた え、音の重なり、旋律、反の働い 変化を聴き取り、それらの働い が生み出すよきを必とい であったこととの関わりにしい で考え、曲のよさを見いだし、楽 器の響きやかけ合いなど興味が ら、音楽とれるで聴く。(3) の面を もち、音楽に引いる。 は、第一次のである。 は、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが	曲想と、呼びかけとこたえなど 音楽の構造との関わりに気付 いている。	音色、呼びかけとこたえ、音の 重なり、旋律、反復、変化を聴 き取り、それらの働きが生み出 すよさや美しさを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ取った こととの関わりについて考え、 曲のよさを見いだし、曲全体を 味わって聴いている。	楽器の響きやかけ合いなどの面白 さを捉えて聴く学習に興味をもち、 音楽活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組もうとしている。
5 日本と世界の音楽	6	に必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり 組み合わせたりして表現する技	楽の構造との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づい	取り、それらの働きが生み出すよや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するか、まとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味	我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽習しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

6 パートの役わり	3	をするために必要な、音色に気き付け、互いの音を聴いた音を聴けて資奏する技能音等とに付ける。(2) フレーズや聴きないとでして変を感じ取ったがら、それらのもいったが、との関わりにつまった。との関わりにつまった。との関わりにつまった。との関わりにつまった。との関わりにつまった。ことに関本することに異ながら、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	るために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
7 音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽 の構造との関わりに気付く。(2) 音色、旋律、反復、変化、強 弱、速度などを聴き取り、それ らの働きが生み出すよさや美し さを感じ取りながら、聴き取った ことと感じ取ったこととの関わり について考え、曲のよさを見い だし、曲全体を味わって聴く。	曲想と旋律や音色など音楽の 構造との関わりに気付いてい る。	弱、速度などを聴き取り、それ	曲想とその変化を捉えて聴く学習に 興味をもち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活動に取 り組もうとしている。
8 思いに合った表げん 選択A 器楽	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出ら、と感じ取りなから、聴き取ったことと感じ取りたことと、感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、とのように演奏するかについて思いた意図を	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や 係奏を聴き、音を合わせて演奏 する技能を身に付けている。	聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさを感じ取りな	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
(音のスケッチ) 役わりをもとに音楽をつくろう	2	(1) フレーズなどのつなげ方やも 重ね方の特徴について、それ 更な力の特徴について、それ からせて気付くとともために、発想を 生かした表現をするたにめ とさいるにきを操択したる、発明といる の間をがしたる、設定された寒保にして、 の間をがしたるで、 の間をがして、 の間をが生たれる、 を身い、それ いの間をが生みなが。 と感じ取りながら、 聴めのも がけくとこたえ、 音楽の、それ らの働きが取りながら、 をめいて考え、 の間を感じ取りながら、 を感じ取りながら、 を感じ取りながらない。 がと感じ取りながら、 を感じ取りながら、 を感じ取りながらいて 着して ものまで 着して ものました き楽活して きる。 のと のまれ ものました ものまして ものまして ものまして ものまして ものも とを感じ取りながら とを感じ取りながら とを感じ取りながら りについて 着して ものように もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの もの			役割を生かして表現することに興味 をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。
〈いろいろな歌声を楽しもう〉 歌げき「魔笛」から	3	(1) 曲視と、歌声や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴く。(3) いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌劇の音楽に親しむ。	曲想と、歌声や旋律など音楽 の構造との関わりに気付いて いる。	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。	いろいろな歌声の特徴を捉えて音 楽を聴くことに興味をもち、音楽活 動を楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとしてい る。

〈導入〉 「ありがとうの花」	2	(1) 曲想と旋律やリズム、反復など音楽の構造との関わりり、 は、世報と歌詞の内容との関わりりに気付くとともに、気をできな、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を映らなり、では、大れらの働きが生み出すよさを感じ取ったことと感じ取ったこととの関わりにつといて表え、曲の特徴を捉えた表現った。いて思いや意図をもつ。	音楽の構造との関わりや、曲想	よさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わ	曲の特徴を捉えたり、互いの歌声などを聴き合って表現したりする活動に異味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、友達と表現することの楽しさを感じている。
〈スキルアップ〉 「早ロ」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図たりに合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付ける。(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについてまいや意図をもつ。	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発育の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌う技能を身に付けている。	などを聴き取り、それらの働き	言葉の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈スキルアップ〉 早口言葉でラップを楽しもう!	2	(2) リズムや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとままりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。(3) 言葉のリズムの面白さを生かして寒活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ボイスアンサンブルに親し	リズムのつなげ方や重ね方に ついて、それらの生み出すよさ や面白さなどと関わらせて気付 いている。	リズムや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	言葉のリズムの面白さを生かして 表現することに興味をもち、音楽活 動を楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとしてい る。
「国歌・区歌 ・校歌」	2	君が代や区歌、校歌の歌詞や旋律を理解し、正しく歌う	君が代、区歌、校歌の歌詞や 旋律を正しく捉えて歌ってい る。	や音楽の特徴を感じ取り、曲に	君が代、区歌、校歌の大意や歌われる場面を理解し、公共の精神をもって主体的に取り組んでいる。

教科 音楽 学年 第5学年

BELL O	n+ #L			題材のまとまりの評価規準	
題材名	時数	題材の到達目標(ねらい)	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「こいのぼり」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞をの関わりや、曲想と歌詞をの関わりについて理解するとともに、思いや意図に合っで、表現を音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのあけもら、に変し、ない、ないで、自然で無理のない、等きのおけら、を見い、それらの生み出すよ。を取り、それらの生み出する。というないできたと感じ取りたことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったこととをして考え、正夫し、いや意図をもつ。、3) 歌詞や出ている意い言を楽しみながら、主なし、ないないのは、は、ないないないない。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。		歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽 しみながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。
1 和音や低音のはたらき	4	(1) 曲想と音の重なりや和音の智さなど音楽の構造との関則について理解するとともに、思いや意図に合った表現をやきないで理解するともに、思るために必要な、ハ長頭の楽奏したした音の書を見て歌ったり演奏したと音の響きなどを聴き取らない。聴き取ったことを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、、曲の特徴にように演奏するかについてもいた思いたの働きに興味をもち、音楽とかながら、ま体的・協働的に興味をもち、音楽とがながら、ま体的・協働的に学習活動に取り組弁、、八長頭の主要に知るとない。	きなど音楽の構造との関わりに ついて理解している。	聴き取り、それらの働きが生み 出すよさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの 関わりについて考え、曲の特徴 にふさわしい表現を工夫し、ど のように演奏するかについて思 いや意図をもっている。	協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 和音に合わせてせんりつをつく ろう	2	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴についた。 からの生み出すよさや面とともに、思いや意図に合った表現仕 能みを用いて音楽をそる技能を身に付ける。(2) 旋律やそれの 響きなどを聴き取り、それの 響きなどを聴き取り、それの を感じ取りながら、聴きかしたして を感じ取りながら、聴きかしたことと感じ取っなた。ととの関わりば するたとを、こったで表現し構全 を感じ取りながら、聴きかしたことを感じ取りながら、を感じ取りながらない。 を感じ取りながら、きをの関わりば成 することを通したこととの関わりば成 することを通したことの関わりば成全 ないまった。といいて思いや意図を もつくるかについて思いや意図を もつくるがについて思いや意図わり	思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	取り、それらの働きが生み出す よさや面白さを感じ取りながら、	和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

2 アンサンブルのみりょく(合唱)	6	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲切いで、無別の内容とともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴然のない、響きのある歌らで無理のない、響きのある歌らで無理のない、響きのある。(2) 日前の音が見いた。との関係などを聴き取り、それらのを感じ取ったこととの関例をがとみ出いまました。との関しいたオラに、まったの音の響きや演奏を出たして、表現を出たいままり、このように歌うかについて考え、そのとのという。	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	関係などを聴き取り、それらの 働きが生み出すよさや美しさを 感じ取りながら、聴き取ったこと	いろいろな形態の合唱の響きや、 自分たちで工夫して表現することに 興味をもち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活動に取 り組もうとしている。
《めざせ楽器名人》	6	(1) 曲想とリーズなど音学のののりません。 構造との関わいたかとともいたがしために、するととも、音や関わいた方ととも見て、するととも、表現の音をを聴いたので、まないで、ので、などで、などで、などで、などので、などので、などので、などので、などの	造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を	りながら、聴き取ったことと感じ 取ったこととの関わりについて 考え、曲の特徴にふさわしい表	声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・協働 的に学習活動に取り組もうとしてい る。
3 アンサンブルのみりょく〈オー ケストラ〉	3	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。(2) 復変化など美しいで、 でいたなど美しいで、 でいたなど美しいで、 でいたなどを感じ取りながら、 聴きのようを見いだし、 曲全体を響っていて、 おいまで、 でいた、 でいた、 との表しいだし、 曲全体を等っていて、 (3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、 音楽活動を楽しみながら、 主体的 ・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。	曲想と楽器群の響きなど音楽 の構造との関わりについて理 解している。	音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、たれらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。	楽器群の響きや作品の背景に興味 をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り 組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「赤とんぼ」	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するともは、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	曲想と旋律など音楽の構造と の関わり、曲想と歌詞の内容と の関わりについて理解してい る。	の働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	言葉の抑揚や曲の特徴を生かして 表現することに興味をもち、音楽活 動を楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとしてい る。
4 パートの役わり	2	(1) 曲想と拍など音楽の構造と の関わりや、曲想と歌評解するととの関わりについて理解するとともに、思いや意図に合名表現をするために必要な、響き、保養する技能を身に付ける。(2) との関係などを聴き取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことと感じ取ったこととでして表表、工夫し、ど思いや意図をもつ。(3) 曲の特徴にふさわしい表現をエテしいを規とながら、主体的・協働的に学習とながら、主体的・協働的に学習	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽 るために必要な、各声部の楽 器の音や全体の響き、伴奏を 聴いて、音を合わせて演奏する 技能を身に付けている。	の関係などを聴き取り、それら のよさなどを感じ取りながら、聴	曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

5 日本の音楽	3	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて図に合った表現を発音に気を付けて歌らならに気をが呼吸及び発音に気を持た気を発音に気を発音に気を発音に気を発音に対して歌う技能を身にはないという。 また 一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて 理解している。 ○思いや意図に合った表現を するために必要な、呼吸及び 発音に気を付けて歌う技能を 身に付けている。	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが 生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。	的・協働的に学習活動に取り組もう としている。
6 豊かな表現	4	(1) 曲想と旋律や拍な起き全歌面構造との関閉りりや、曲想と変を歌詞の内容と見いて理に関するとともに、思いやに必に変しまった。表現を有った表現な発音を付ける。(2) をできまった。 で呼吸及自然で乗でかりにから、を聴き取らなど感じ取りながら、悪き取らなど感じ取りながら、またの関いながら、またのは、から、いて思いや意でわいい。(3)をおいて、とくの情報にふさらに取りながら、ま体的・、はの情報にふさらに取りである。では、といて思いや意でした。表現活動に関いながら、ま体的・、なの特徴にふさらにない。まないでは、といてはいや意では、といては、いていたが、のよりによいながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まながら、まなり組み、ないの特徴にあったに親にしていていた。		旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で音楽をつくろう	2	(1) 多様な声の響きやそれられらのの生み出す性の特徴について、と関想の生み出すよさや面白に、発想のらせて出解するととする上で、設定した条件に基したりはで、設定した条件に基したりはで、対して、即興的に声を選択したる音のは、強弱などを聴きがら、聴きり、強弱などを聴きがら、聴きを取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取った。は、というは、全様となり、を表して音楽と明の方となり、はいるないで、は、というに、全体のまとまりを意思して音楽とのは、は、というに、全体のまとまりを意思して音楽とのは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの 生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。	取ったこととの関わりについて 考え、即興的な表現を通して音 楽づくりの様々な発想を得た り、どのように全体のまとまりを 意識した音楽をつくるかについ て思いや意図をもったりしてい る。	詩をもとにしていろいろな声で表現 することに興味をもち、音楽活動を 楽しみながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしている。
〈につぽんのうた みんなのうた〉 「スキーの歌」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各奏を聴いて歌う技能を身に(付ける。(2) 旋律・リズム、反仮も、を聴いながら、聴き取り、そ取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさにも思いか意図をエ夫し、どのようにもつ。(3) 歌詞やに思味をもかして表現。とと感じ取ったことに関いなどのように表現をエ夫し、どのようにもつ。(3) 歌詞や曲想を生かして表現。をといて思いや意図をもつ。(3) 歌詞や曲想を生かして音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組	曲想と旋律など音楽の構造と の関わりや、曲起と歌詞の内容 との関わりについて理解してい る。		歌詞や曲想を生かして表現すること に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。
7 音楽のききどころ	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の本き見いだし、曲全体を味わって聴く。(3) 曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味なもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造と の関わりについて理解してい る。	旋律、反復、変化、呼びかけと こたえなどを聴き取り、そのよさ や面白さを感じ取りながら、聴 き取ったことと感じ取ったことと の関わりについて考え、曲のよ さを見いだし、曲全体を味わっ て聴いている。	曲の特徴を見いだしながら聴くこと に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。

8 思いをこめた表現	3	(1) 曲想と音楽の構るととして、 りについて図に合った表現をするとともにまれた。 りについて図に合った表現をするためにの関いた。 を全体の響きを技技能を身とのして、 を全体の響きを技技能を身とのは、 を全体の響きを技技能を身とのは、 をは、 をは、 をは、 をは、 をいる、 をいる、 できまさがら、 をいる、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさがら、 できまさが。 できまさが、 できまが、 できなが、 でが、 できなが、 でが、 できなが、 できなが、 できなが、 できなが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 で	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしいて表現るで工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協 働的に学習活動に取り組もうとして いる。
〈音のスケッチ〉 ずれの音楽を楽しもう	3	(1) 反復する月報にないます。 (1) 反復する月報についてした。 や重ね方の特徴についての自た。 関わらせきとと理解するとともした。 思いや意図になる。音楽の仕技を見いなどを を身に付ける。(2) リなどを感とを を身に付ける。(3) リなどを感とが を身に付ける。(4) リなどを感とが を身に付ける。(5) リなどを感じなる。 変の縦と横ともきを取りにこといる。 でしていて思いでないます。 まとまりを意思いた。 まとまりを意思いたのでないます。 ないて、このでは、 はいれて、	反復するリズムのつなげ方や 重ね方の特徴について、それら の生み出すよさや面白さと関わ らせて理解している。	リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや 面白さを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったことの りかりについて考え、音を音楽へ と構成することを通して、どのよ うに全体のまとまりを意識した 音楽をつくるかについて思いや 意図をもっている。	リズムのずれの面白さを生かして 表現することに興味をもち、音楽活 動を楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとしてい る。
《変奏曲を楽しもう》 ピアノ五重そう曲「ます」第4楽 章から	2	取り組み、インターロッキングの (1) 曲想と旋律や音色など音楽 の構造との関わりについて理解する。(2) 旋律、音楽の縦と 横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美したを感じ取りながら、聴き取りりについて考え、曲のよとさなどを見いだし、曲全体を味わって、聴く。(3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	曲想と旋律や音色など音楽の 構造との関わりについて理解し ている。	旋律、音楽の縦と横との関係、 変化などを聴き取り、それらの 生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ 取ったこととの関わりについて 考え、曲のよさなどを見いだし、 曲全体を味わって聴いている。	変奏曲に興味をもち、音楽活動を 楽しみながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしている。
「国歌・区歌 ・校歌」	2	君が代や区歌、校歌の歌詞や 旋律を理解し、正しく歌う	君が代、区歌、校歌の歌詞や 旋律を正しく捉えて歌ってい る。	や音楽の特徴を感じ取り、曲に	君が代、区歌、校歌の大意や歌われる場面を理解し、公共の精神をもって主体的に取り組んでいる。

教科 音楽 学年 第6学年

題材名	時数	題材の到達目標(ねらい)		題材のまとまりの評価規準	
			知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	2		の関わりや、曲想と歌詞の内容 との関わりについて理解してい る。 口	感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。□	歌詞や旋律の特徴を生かして表現 することに興味をもち、音楽活動を 楽しみながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしている。ロ
1 短調のひびき	4	(1) 曲想と調など音楽の構造と の関わりについて理解するとと もに、思いや意図ない、長調 をするために必要ない、長調 演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きがら、 を聴き取り、それらの働きがら、 聴き取りたと感じ取りながら、こと との関わりについて考え、曲大 し、どのように演奏するかにこと との関わりについて考え、地大 し、どのように変をもった、出 し、どのように変をもった、出 を味わって聴いたりする。 (3) 長調と短調の響きの違いに 異味をもち、音楽活動を楽しみ さがら、主体的・技働的に学		調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、いや意図をもったり、曲のように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のようなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりしている。口	長調と短調の響きの違いに興味を もち、音楽活動を楽しみながら、主 体的・協働的に学習活動に取り組も うとしている。□
2 アンサンブルのみりょく	5	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとと明に、思いや意図に合った表の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさやら、聴き取りながら、聴き取りにことと感じ取ったことと感じ取ったこととの関わらを感じ取りながら、味き取りに入れて思いや意図をもつ。 (3) 演奏者の思いを感じ取っ活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、			
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりりについて理解するとともに、思いや意図に全合っ呼て、自然で無理のない。要なけけて、意明をするが、要するが、要きのある歌い方で歌う技能を身はどを聴き取り、それらの働きが生み出すったとと感じ取ったこととの関について考え、曲の特徴を生かしていて考え、由の特徴を生かしていて考え、中の・協動が自然を楽しみながら、主教明するとしていて考え、東野事るとして思いや意図をも、歌詞やは一般を感じ取ったこととの関について考え、中の特徴を生かして、表現することに興味をもち、主条活動を楽しみながら、主体的・協動的に学習活動に取り組	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。□	旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。ロ	

0 11 / 45 0 51 5 4 4 1 1	1	(A) ##1##### = = = #	田以北帝國(4人) (古祖)	立水の畑1井1~四月107 寸	長体でまたけに細さる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3 せん律のひびき合い	4	(1) 曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を聴きながら演奏する技能を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取り、をがら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏もつ。 (3) 旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興なきもち、音楽活動を楽しみながいままた。	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する 技能を身に付けている。□	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。口	ら表現することに興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・協働
4 音楽のききどころ	4	(1) 曲想と旋律や音をど音楽の構造との関わりについて理解する。(2) 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取りないたまえ、曲のよさなどを見いだして、聴く。(3) 楽器同士の関わり合いや、曲の特徴を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみな活がら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンとピアノのアンサンブルに親しむ。	曲想と旋律や音色など音楽の 構造との関わりについて理解し ている。□	音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだして聴いている。□	捉えて聴くことに興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・協働
5 豊かな表現	5	(1) 曲想と声部のりや、曲想と声部のりや、曲想と声部のりや、曲想と声部のりや、曲想と声部のりや、曲想と声響を変した。という。 一切になると、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。□	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌かについて思いや意図をもっている。□	て表現することに興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・協働
6 世界の音楽	3	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するともに、思いや意図に合った表現をするため、全やはでないで、要な、各声参にたりすった表部をきにたりすると、任意を身に付ける。 (2) 旋律や音色、音の重なり、行ってはなどを聴き取り、それらのきないではながら、聴き取りながら、聴き取りながら、聴き取りながら、をとの関いで表現を主とつしい表現を主ました。との関いであるかに、といる表現を工夫し、どのように、歌ったり演奏のよさを見いだして聴いたり、で思いや意図というについて思いやを見いだして聴いたり、ながら、本の関かりについて思いたり、ないで思いやを見いだして聴いたり、ないで思いやを見いだして聴いたり、で思いたりである。に伝わるの異るを見いだして興味をもちいて思いたの関かりについて思いたの関が表した。		どを聴き取り、それらの働きが 生み出すよさや面白さを感じ取	諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動(こ取り組もうとしている。□

		It is the second of the second of			Lanciana, lanciana di seriesa di
7日本の音楽	3	(1) 曲想と旋律や音色などで理 の構造との関わりについて理 解するとともに、思いや意図要 合った表現をするためにを必ずきの な、呼吸及び発音に気を付け て、自然で無理のなれ、響身に付ける。 (2) 旋律、方で歌う技能を感じ取り を聴き取り、それらの働きが生りながら、聴き取りたこととの関わりについます。 ながら、聴き取りについます。 ながら、聴きを取りたことと感じいて 考え、曲のようにと見出し、曲の 様にふさわしい表現をもったり はでいて思いや意図をもったり ながらでいて思いや意図をもったり はのいて思いや意図をもったり はのいて思いや意図をもったり はのいて思いや意図をもったり はのいて思いや意図をもったり はのいて思いや意図をを楽さるかり はのいて思いや意図を発音が動いに とどのように歌うかや演をもったり はいる。 はいる音楽でいる音楽でいまする。 (3) 我が国に伝わる音楽活動的に とのながら、主体は、動かよのよりは、 とのは、 とのは、 はいまする。 はいまる。 はいまする。 はいまなる。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまする。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はいまなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。口	旋律、音色、反復、変化などを 聴き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ取っ たこととの関わりについて考 え、曲のよさを見出し、曲全体 を味わって聴いたり、曲の特徴 にふさわしい表現を工夫し、ど のように歌うかや意図をもったりし ている。□	
8 思いをこめた表現	3	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想とを関わりや、曲想とで理解するをともに、思いや意図要な、聴いる表現を全体の響さ、伴奏を聴いて、声を合わせて、声を合わせて、をなどを感感が取り、それら、聴き取りが、してといり、それら、もなどとの関わりについて表現をない。して、あたる、は、とれら、もながら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、とれら、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	体の響き、伴奏を聴いて、声を	れらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことと	曲想を捉えて表現することに興味を もち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を動して、主体的・協 働的に学習活動に取り組もうとして いる。□
[ジャズとクラシック音楽の出合い]	2	(1) 曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよい聴き取りないたことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演聴くよいきというとなった。とうを楽しさを見いだして聴く。 (3) ジャズとクラシックが融きないた音楽に興味をもち、音楽活動の的に学習活動に取り組み、ピアンとオーケストラによる音楽に関けるサイストラによる音楽に異様を表した。		とこたえなどを聴き取り、それら	ジャズとクラシックが融合した音楽 に興味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。ロ
〈音のスケッチ〉	2	親した。 (ハ) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生らが生る時徴について、それらが生ら出すよさや面白さももに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽のとは能をもなった。 (2) リズム、、 、	重ね方の特徴を、それらの生	音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りなか。 聴き取ったことと感じ取った、 即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、とうに全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについてはした音楽をつくるかについなさを見いだして聴いたりしている。 [

〔めざせ 楽器名人〕	4	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとと現をするために必要な、急いで、身に、思いや意図に合った表現の音や全体の響きる技能を多いで、身に、をいるとの関きが生みがら、との関わりについて表現をが生みがら、との関わりについて表現をいたの関わりについて表現をいたの関わりについて表現をいた。との関わりについて表現をいた。といて思いや意図をものであるとに関わりについて表現をいたし、どのように演奏するかに、といように演奏するかに、といまいや意図を生かして表現をものでいて思いや意図をものの響いを生かして表現動を楽しみながら、主体的・協働的に、マ思いを記載をもち、音楽活動が、コーダー・アンブルに親しむ。			声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。口
巻頭教材つぱさをください	2	(1) 曲想と旋律 曲想と変神 の構造 内閣 わりや 曲想と歌理解すた 中	の関わりや、曲想と歌詞の内容		歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽 しみながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。口
スキルアップ	2	(1) 曲想と、旋律や音楽の縦と横との関係など音楽の構造との関係など音楽の構造とした、思いや意図をすったを付けて、付けるといるというでは、思いや意図などでは、では、変なが、では、などを聴きなどを見くなどを聴きない。との側になりながたこととの関わりについて考え、出のものといるがたこととの関わりについて考え、出のものといるができません。との関わらについて考え、出のものといるができなどを明りながら、主体がしいまりながら、ととの関わいらについて考え、出のものをとと感じないた。との関わりについて考え、出のものように、との側のをとといる。(3) 声が重なるものも、音楽にみながら、主体的・協働・に学習活動に取り組み、輪唱の音楽に親しむ。	曲想と旋律や音楽の縦と横との関係などの音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなどと関わらせて理解している。□	どを聴き取り、それらの働きが 生み出すよさや面白さを感じ取 りながら、聴き取ったことと感じ 取ったこととの関わりについて 考え、曲の特徴にふさわしい表 現を工夫し、どのように歌うか について思いや意図をもってい る。ロ	声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音樂活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。□
「国歌·区歌 ·校歌」	2	君が代や区歌、校歌の歌詞や旋律を理解し、正しく歌う	君が代、区歌、校歌の歌詞や 旋律を正しく捉えて歌ってい る。	や音楽の特徴を感じ取り、曲に	君が代、区歌、校歌の大意や歌われる場面を理解し、公共の精神をもって主体的に取り組んでいる。